



5-081EAN-00-01

日本ペイント株式会社

製品使用説明書

ハイボン90ファイブ

FKD-P-25

規格
一般名称
特長

福岡北九州高速道路公社 構造物設計基準(付属構造編)(R5年2月)・塗装補修基準(R5年9月)

弱溶剤形超厚膜形エポキシ樹脂塗料

- ・ハイソリッドタイプで厚膜に塗装できます。
- ・環境にやさしい弱溶剤タイプです。
- ・塗膜物性に優れ、素地との密着性にすぐれています。
- ・厚膜塗装によって外部からの腐食性物質の侵入を防ぎます。

塗料性状

	塗料液	硬化剤				
色	グレー色	茶褐色				
密度(g/cm ³)(23)	1.61 (混合塗料) 1.67 (塗料液) 0.93 (硬化剤)					
光沢	つや消し					
引火点	44	47				
発火点	288 (参考値)	454 (参考値)				
消防法 表示	化学名	合成樹脂エナメル塗料				
	危険物区分	指定可燃物・固体				
	危険物等級	- (火気厳禁)				
有機溶剤区分	第3種	第3種				
毒劇物表示	-	-				
有害物表示	エポキシ樹脂	ポリアミド樹脂				
国連/指針番号	3077/171	1992/131				
環境性能	クロル ^ル リス	配合せず	ホルムアルデ ^{ヒド}	配合せず	トルエン	配合せず
	キシレン	0.4%	パラジクロロベン ^{ゼン}	配合せず	エチルベン ^{ゼン}	0.1%未満
	スチレン(モノマー)	配合せず	フタル酸ジ ^{-n-ブ} フィル	配合せず	テトラ ^カ	配合せず
	フタル酸ジ ^{-2-エ} ヒル	配合せず	ダイ ^ソ リン	配合せず	アセトアルデ ^{ヒド}	配合せず
	フェノ ^ル アル	配合せず	鉛	配合せず		
	T V O C	18.4%				

・加熱残分(%) : 80 (混合塗料) 83 (塗料液) 50 (硬化剤)

塗装基準
下地調整:
混合:
荷姿:
ポットライフ:
希釈剤:
塗装方法:

・被塗面に付着したダスト・海塩粒子・水分・油そのほかの異質物を清掃し、清浄ケレンしてください。

2液形のため、「塗料液:硬化剤=95:5(重量比)」に混合し、十分にかくはんしてください。

20kgセット(塗料液:硬化剤=19kg:1kg)、5kgセット(塗料液:硬化剤=4.75kg:0.25kg)

5時間(23)

塗料用シンナー-A[一般用]、塗料用シンナー-SA[冬用]

塗装方法	はけ
希釈率	0~5%
使用量	0.50kg/m ² /回
膜厚(ドライ)	150 μm
膜厚(ウェット)	245 μm/回

・上記各数値は、施工基準書に準拠したのとなっており、被塗物の形状や気象条件等で各数値は増減することがあります。施工基準書に従って塗装してください。

乾燥時間:

	5	23	30
指触乾燥	2時間	1時間	1時間
半硬化乾燥	6時間	4時間	3時間
塗り重ね乾燥	48時間以上10日以内	24時間以上10日以内	16時間以上7日以内

・乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

・塗り重ね乾燥時間は、施工基準書に定められた数値となっております。気象条件や被塗物の状態によって、その値に変動がありますので、塗膜状態を確認してから塗り重ねをするようにしてください。

注意事項

- ・2液混合時は混合比率を正確にまもり、一般の塗料かくはん以上に入念にかくはん機でかくはんしてください。
- ・2液弱溶剤反応形樹脂を使用しているため、希釈時、シンナーが浮いた状態になりますが、かくはんすると問題なく混ざります。
- ・かくはんはディスパーで行ってください。
- ・洗い溶剤はラッカーシンナーをご使用ください。
- ・所定のシンナー以外を使用したり、薄めすぎますとダレ、かぶり不良などをきたす原因になりますので、必ず所定のシンナーおよび希釈率をまもってください。
- ・塗装場所の気温が5 以下、湿度85%以上、また換気が十分でなく結露が考えられる場合は塗装を避けてください。
- ・ウェットフィルムゲージでウェット膜厚を管理しながら塗装してください。
- ・形状が複雑な場合、塗り残しを避ける為、2回塗にて150 μm塗付ください。
- ・雨がかけると塗膜が流れたり、塗膜性能が出ない場合がありますので、雨がかけられる場所で施工しないでください。
- ・外部の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- ・はけ塗りの場合、塗り重ね部などで、むらになりやすいので注意してください。
- ・乾燥は低温時において著しく低下し、乾燥過程で種々の塗膜欠陥を生ずることがありますので5 以下の気温が連続する場合、施工しないでください。
- ・密閉場所では換気を十分に行い、溶剤許容濃度以下で作業してください。乾燥中も換気してください。
- ・塗装後短期のうちに、降雨や結露など、水分の影響を受けると白化することがあり、このような白化面にそのまま塗り重ねると層間付着性が悪く、はく離するおそれがありますので、ペーパー掛け、シンナー拭きなどで白化した層を除去してください。
- ・標準膜厚より極端に厚い場合や、薄い場合には種々の塗膜欠陥を生じる事がありますので規定の使用量を厳守してください（さび・はく離等）。
- ・一度に厚塗りすると、乾燥不良となり、種々の問題を起こしますので、適正な膜厚で塗装してください。
- ・強溶剤エポキシ樹脂塗料(ピュアエポキシ・変性エポキシ)の塗り重ねは、避けてください。
- ・没水部などへの適用は避けてください。
- ・溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気を行ってください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
- ・作業前に容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご参照ください。
- ・塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- ・製品安全に関する詳細な内容は安全データシート(SDS)をご参照ください。

本書類の内容については、予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

本書類中の製品名・会社名は、日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。

Copyright (c) 2014 Nippon Paint Co., Ltd. All rights reserved. この書類に対する加筆、修正はご遠慮ください。